

質疑応答の内容一覧

議事(1)令和5年度佐伯市男女共同計画(案)について

番号	質疑応答
1	<p>(質問)現行の第4次計画の指「女性市議会議員の割合」を挙げているが、目標値を上回ることができていなかったため、「ポジティブ・アクション」に関して強調して、今後しっかり進めていくように明記していくことが必要である。</p> <p>(回答)積極的改善措置(ポジティブ・アクション)については、強調して明記する。</p>
2	<p>(質問)市民意識調査結果によると、男女の地位が平等であるかの質問に対し、前回調査よりもポイントが下がったのは、教育と政治であった。これかかなりショッキングな結果といえる。教育や政治に関する具体的かつより積極的な施策が必要である。関係課にもっと働きかけてほしい。「女性の政治参画」のトピックスを明記したことはとてもよい。</p> <p>(回答)次期計画に掲げる施策の見直しについて、関係各課に再度強く働きかけていく。</p>
3	<p>(質問)基本目標Ⅰ-施策の方向1「政策・方針決定過程への女性の参画拡大」についての指標及び目標値に「女性市議会議員の割合」を掲げているが、5次計画が策定された翌年度には市議会議員選挙がある。すぐにその目標を達成するには厳しいものがあると思う。具体的な施策として掲げておこなうべきなのか。</p> <p>(回答)市民意識調査結果の政治について男女の地位が不平等であるという結果を受け、政治の場における男女の地位の格差という課題について看過することはできない。しかしながら、男女共同参画計画の各種指標は、それ自体が目的ではなく、本市の男女共同参画の課題を解消していくための方向性を示しているものがあることから、この指標を掲げるに至った。女性市議会議員の割合の目標値30%は、大分県の状況が全国的にも低い状況にあることから、東京都のレベルにということで設定している。計画の中にある全ての施策が、政治分野も含めた社会全体の男女の地位が平等になるための施策であると考えている。</p>
4	<p>(質問)素案に対する意見を反映した案については、事務局から再度報告があるのか。この日をもって、審議会からの答申とするのか。</p> <p>(回答)会長と副会長には、今回の意見等を反映した最終素案を後日再確認していただき、日を改めて答申を行う予定である。</p>

番号	そのほか意見
1	次期計画には、新たな項目として「男女共同参画視点に立った地域防災や復興」に関する具体的な現状や課題や具体的な事例を盛り込んでいることは、評価できる。災害が多く発生する佐伯市にとっては重要なことである。
2	パートナーシップ宣誓制度についての記載がなされているが、人権の課題はほかにも高齢者や障がいのある人など多くのテーマがあるので、女性の人権についてもDVの問題などしっかり取り組んでいくことが重要である。
3	計画内の施策の進捗状況を確認していく際には、令和5年度第2回の審議会時のように、各課の担当者や課長が参加し、きちんと評価していくようにしてほしい。